

# 北陵らいふらりい

平成30年7月3日 札幌北陵高校図書館発行

7月も始まり、本州ではすっかり梅雨が明けたようですね。ですが、その梅雨前線が北上したようで、梅雨がないと言われる北海道では最近では雨が降ることが多く、なんだか暗い天気が続きますね。

さて、今月はそんなじめじめした気分も吹き飛ばせるような明るい本を図書局員が選びました！雨が続き屋内で過ごすことが多いこの季節、みなさんも図書室へ足を運んで読書をしてみませんか？

## 今月のオススメ本

『花火の図鑑』 著 泉谷玄作 発行 株式会社ポプラ社

皆さんは「花火」を見ると、形や色合い・咲き方の違いに注目した事がありますか？花火は「星」という火薬の塊を組み合わせることによってできます。組み合わせ方によって花火は名を変え、「銀乱」「光露」「飛遊星」などの名前が空に打ち上がります。

この本は、花火ができるまでの過程や名前をついた花火の詳しい解説がされています。読み物としてだけでなく、花火の美しい写真も多く載っているため、イラストの参考にもおすすめです。

文責：吉田



『四畳半神話大系』 著 森見登美彦 発行 株式会社 KADOWAWA

主人公の「私」は京都に住んでいる大学3年生。素晴らしい大学生活を送ろうと奮闘しますが、映画サークルに入っても和気藹々とした雰囲気になじめず、怪しい師匠の弟子になったり、悪友の小津には振り回され、気になっている後輩の明石さんとは上手く近づくことができません。「私」は大学生活を満ち足りて過ごせることができるのでしょうか。

アニメ映画化もされた『夜は短し歩けよ乙女』と同じ主人公の別の世界の物語でもあります。少し難しい言葉もあるので読みづらくなってしまうかもしれませんが、物語が面白くてすいすい読めてしまいます。みなさんもぜひ読んでみて下さい。

文責：高橋

『ギルドレ(1) 世界最弱の救世主』 著 朝霧カフカ 発行 講談社

人類は、戦うために作られた生物兵器群『敵』と戦っていた。人類の滅亡も目前だった。そこに突如として現れたごく普通の一般人である少年は、戦場に落ちていた拳銃を拾い上げ、敵に向かって4発、適当に撃っただけで、軍兵でも倒せない敵をあっさりと倒してしまった。その後、世界滅亡の危機を知った少年の消息を知る者は誰もいなかった。

それから3年後、記憶喪失の少年、神代カイルは手足が機械でできた少女、皆川ニイナと出会う。そしてカイルは「確率を操る能力」を持っていたがために、ギルティチルドレンに編入される…

文責：黒川



## 古本市開催のお知らせ

図書館では今年も学校祭で古本市を行います！

日程は学校祭3日目7月7日土曜日の9:30~12:50です。

なんと値段は最安のもので一冊50円!!!

本も様々なジャンルの本があります。

古本市での売り上げは全額ユニセフに寄付します。

ぜひ来て下さい!!!

# ほんめく!!

本で巡ろうあのシーン!!

今回は京都です!!

今回は、『珈琲店タレーランの事件簿』シリーズの舞台である京都について紹介したいと思います。平安時代から東京に首都が移るまで、京都は日本の政治経済の中心地だった歴史があり、そのためか、ここを舞台とした映画や小説、漫画などの作品が数多くあります。例えば、名探偵コナンの『から紅の恋歌』や西尾維新の『戯言シリーズ』、七月隆文の『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』などです。

794うぐいす平安京で知られている京都は碁盤目状に区画された平安京を土台に発展してきた都市です。しかし、現在の京都の街並みと当時の平安京の街並みがそっくりそのまま重なっているわけではありません。道路幅や位置など当時のそれと比べるとかなり変化しています。地図を見ると分かりますが、決して平安京のように碁盤目状に整然と区画されているわけではありません。当初、幅が85mもあった京都のメインストリート、朱雀大路も今やその面影はなく、せいぜい6m程度のいまいちパツとしない道になってしまっています。

また、京都の中心部は平安京の中心からかなり東へ移動しています。京都の中心が西より東にあるという傾向は、既に平安京の時代から起きていたことです。平安京の中心を南北に貫いていた朱雀大路から、西側の右京は低湿地だったため、あまり発展することがなくさびれていき、左京が平安京の中心として発展していきました。

実は京都は、国宝・重要文化財数が全国で第2位です。納得の数字ではありませんが、それでも第2位。ちなみに第1位は奈良県です。国宝や重要文化財指定となるためには、それなりの年月が必要とされます。その点で言えば、奈良と京都に大きな違いはありません。しかし、最も大きな違いは現存する物の数です。奈良は都であった時代が数十年。京都は約1200年です。それだけ長い間国の中心であったので、戦火や大火が絶えませんでした。そのため、応仁の乱以前の平安時代や鎌倉時代、室町時代といった古い時代の物の多くが焼失してしまっただけです。

2年生は見学旅行で訪れる京都ですが、登場する作品も多く、それぞれに違った京都の魅力が秘められています。長い歴史によって形作られた京都の雰囲気に浸ると、とても優雅な気分になれます。夏休みを挟むのでまだ先のようにも感じられますが、早めに京都について予習するのも良いのではないのでしょうか。本を片手に京都の街を巡るのも楽しいと思います。

文責：堀

